

NPO法人

奈良21世紀フォーラム会報

2007年 新年号



奈良21世紀フォーラム制作ビデオが日本を代表するすぐれた国際貢献企画として全日本社会貢献団体機構から助成金百万円を受ける。

写真は、

平成18年7月21日京王プラザの贈呈式

飛翔のとき

奈良21世紀フォーラム 理事長

石 橋 毅 一

賀正

今年の日本経済は、15年におよぶ混迷の長いトンネルを抜け出し、2%の経済成長が見込まれています。

奈良21世紀フォーラム設立時から続いた世界にも例のないゼロ金利政策も昨年夏、解除されました。

しかし、この間発行されたこの国の国債と地方債の残高は、八百二十三兆円。日銀が1%金利を引き上げても八兆二千三百億円、景気回復によって見込まれる今年度の増収分の倍額が一瞬にして吹っ飛んでしまいます。

また、いじめによる学童の自殺をふくめてこの国の昨年度の自殺者数は、八年連続して年間三万人をこえ、イラクの自爆テロの犠牲者を上回ります。

こうした状況の中で奈良県は、三年後の二〇一〇年、国の特別史跡・平城宮跡を主会場に、平城遷都千三百年記念事業を巨費をかけて開催すると云われています。

無謀というべきか、はたまた起死回生をめざすのか。いずれにしろこの春に予定されている、知事選挙を通じて県民が賛否を決めることとなります。

そしてもし、やろうと云うことになれば、奈良21世紀フォーラムには、この種のイベントをこなしてきたプロが掃いて捨てる程、居ますので、いまある計画を徹底的に見直しさせていただいた上、積極的に協力したいと思えます。

【万葉けまりが

四天王寺ワッソに参加】

古代東アジアの国際交流を雅やかに再現した祭り（11月5日）

今年度は、平城高校サッカー部の協力で、万葉けまりの他、メイン会場での巡行催事にも参加した。巡行では鞠足たちは、聖徳太子役の浜村 淳さんをはじめ推古天皇に扮した女性など16名を各々の幟を掲げ交流会場へ案内した。鞠足たちは、控え場所前でもけまりに興じ、カメラフラッシュを浴びるなど大好評でした。



平城高校サッカー部の皆さんお疲れさま、ありがとうございます。

【陶芸とイタリア料理を楽しむ】

～ 芸術の秋、食欲の秋～

10月4日に、「食は器にあり」（魯山人）ということで、会員24名が土工房「ろくろ」で器づくりに挑戦。

向かいのイタリアレストラン「VENVE NUTO」でまずは腹ごしらえ、午後から陶芸教室に移動。主催者古野幸治先生の厳しいご指導をいただいた。



【第2回

文房三宝展に協力】

県は昨年が続いて、奈良にゆかりのある三宝（墨、筆、紙）をめぐる奈良の匠の技と文化を紹介し、日本の伝統文化でありながら生活様式から遠ざかりつつある書道を再発見する機会となるよう企画展を

奈良県商工観光館2階

県民ギャラリー

で開催します。

当フォーラムは奈良女子大学書道部の協力を得て、書の文化と触れ合い、毛筆で書くことが楽しくなる体験コーナーを設ける。

是非この機会にご覧ください。

期間 2月14日（水）～18日（日）

